

ます。皆さんが普段食べている海産物も高級品になりつつあり、今後食卓に並ばなくなるかもしれません。この要因の一つに、海洋生物の生育場である「藻場」が著しく減少する「磯焼け」が挙げられています。藻場は海の生物の育成だけでなく、空気中のCO₂を貯蔵する役割もあるため、脱炭素の観点からも、なくてはならない存在です。そこで、当社は株式会社イノカが主催する「瀬戸内渚フォーラム」に参画しています。本フォーラムは、企業や大学、市などの行政機関と連携のもと「藻場がどんな環境であれば育ちやすいか」を分析し、瀬戸内海に藻場を造成する取り組みです。私たちダイダンは建築設備工事業で得た知見を活かして藻場の造成に貢献していきます。さらに、藻場造成の取り組みを通じて学校への教育イベントなどを開催し、地球環境を守ることの重要性も発信していく予定です。「人と地球に優しい持続可能な社会の実現」に向けてこれからもさまざまな取り組みを行っていきます。



図49 瀬戸内渚フォーラムの記者会見写真
(ダイダングル株式会社より資料提供)



図50 藻場のイメージ
(ダイダングル株式会社より資料提供)